

## 中央卸売市場移転予定地における 土壌・地下水汚染調査 (Step1) 業務委託 (測量)

### 1. 調査目的

本調査は、対象地で実施する調査地点を測量により特定することを目的とした。

### 2. 調査実施期間

平成28年6月14日～16日、21日

### 3. 調査方法

調査地点の測量に先立ち、対象地外周に相当する境界標の位置を確認するとともに、測量により、既往データ (CAD ファイル) の対象地範囲と現況とが一致しているか、確認を行った。その結果、境界標が現存しない既往データの境界点には木杭・金属鋸を復元した。

その上で、起点及び本調査地点の位置を測量により特定し、木杭・金属鋸により現地に明示した。

また、現地に明示した各調査地点においてレベルを使用して水準測量を実施し、地盤の高さを測量した。水準測量は仕様書で設計されていないが、調査結果の評価に必要なため実施することとした。

なお、調査地点の平面位置はXY座標で、地盤の高さは標高で表記した。標高の基準点是对象地東側近傍の街区三角点 (3023A) とした。

### 4. 調査数量

調査数量を表1.1に示す。

表 1.1 調査数量

調査種別	調査内容	調査数量
測量	対象地範囲の確認	既存境界標の確認：101X～104X、143P、162P、163C～166C、167P、168P、170B、171P、172C 境界標の復元：K1～K3、K18～K29
	調査地点位置測量	起点及び調査地点 542 地点 計 543 地点 ※「資料2 地質及び地下水調査」3 地点の移動先地点の追加測量を含む。
	調査地点水準測量	調査地点 542 地点
	基準点	街区三角点 1 地点 (3023A)、T.P.+2.691m

## 5. 測量結果

### (1) 調査対象地

対象地南側及び東側ならびに北西側に現存する境界標と既往データの境界点の差異（方角、距離）について、姫路市による現地立会いのもと確認した結果、対象地を区分する格子や調査地点設定に影響を及ぼすような誤差のないことを確認した。すなわち、既往データは、本調査の実施において、十分な精度があると判断される。

対象地の測量結果を図 1.1 に示す。

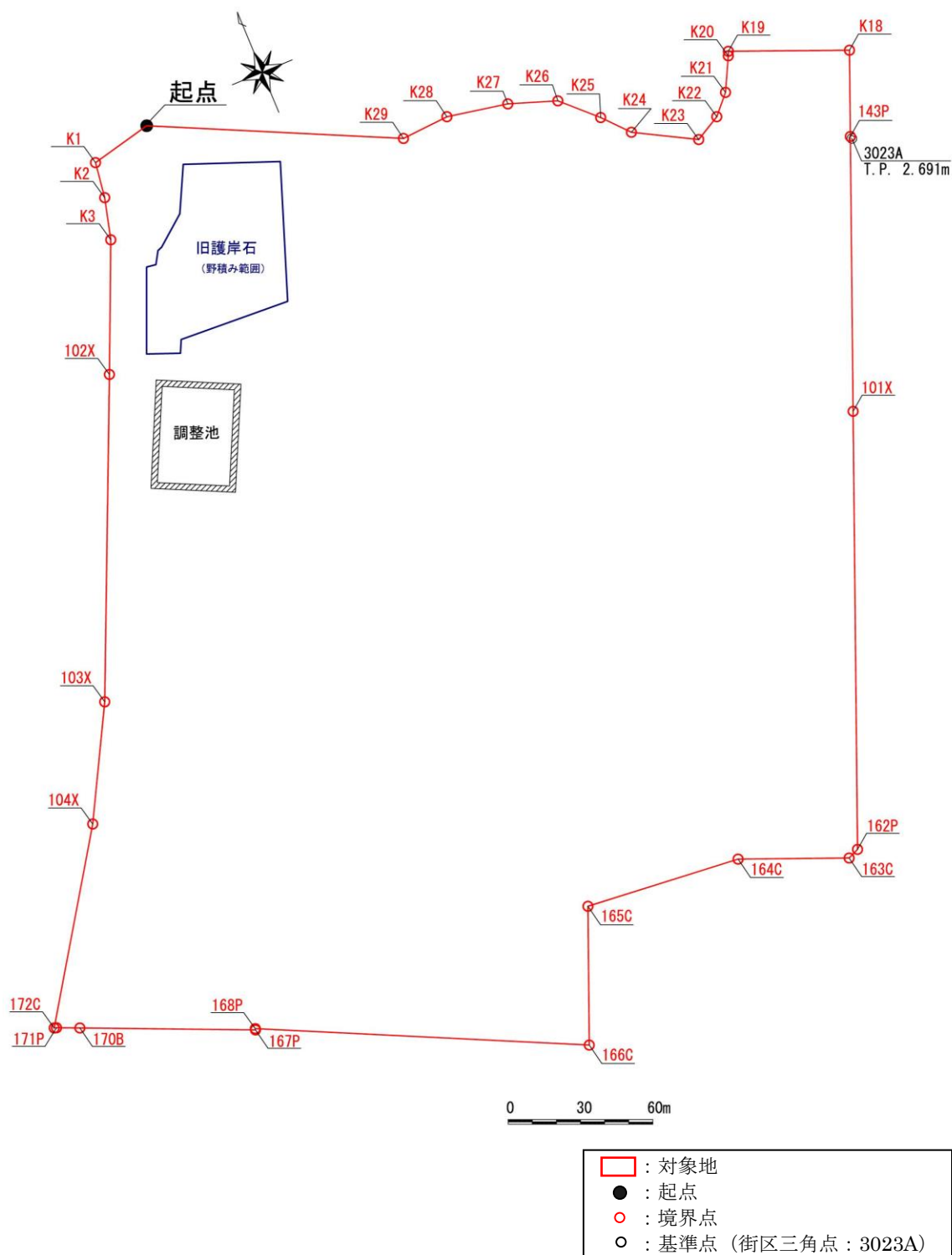


図 1.1 対象地境界確認図

## (2) 調査地点

### ① 調査地点位置

測量結果として、対象地及び旧護岸線と地質・地下水調査地点を図 1.2、調査地点位置を図 1.3 に示す。

### ② 調査地点の移動

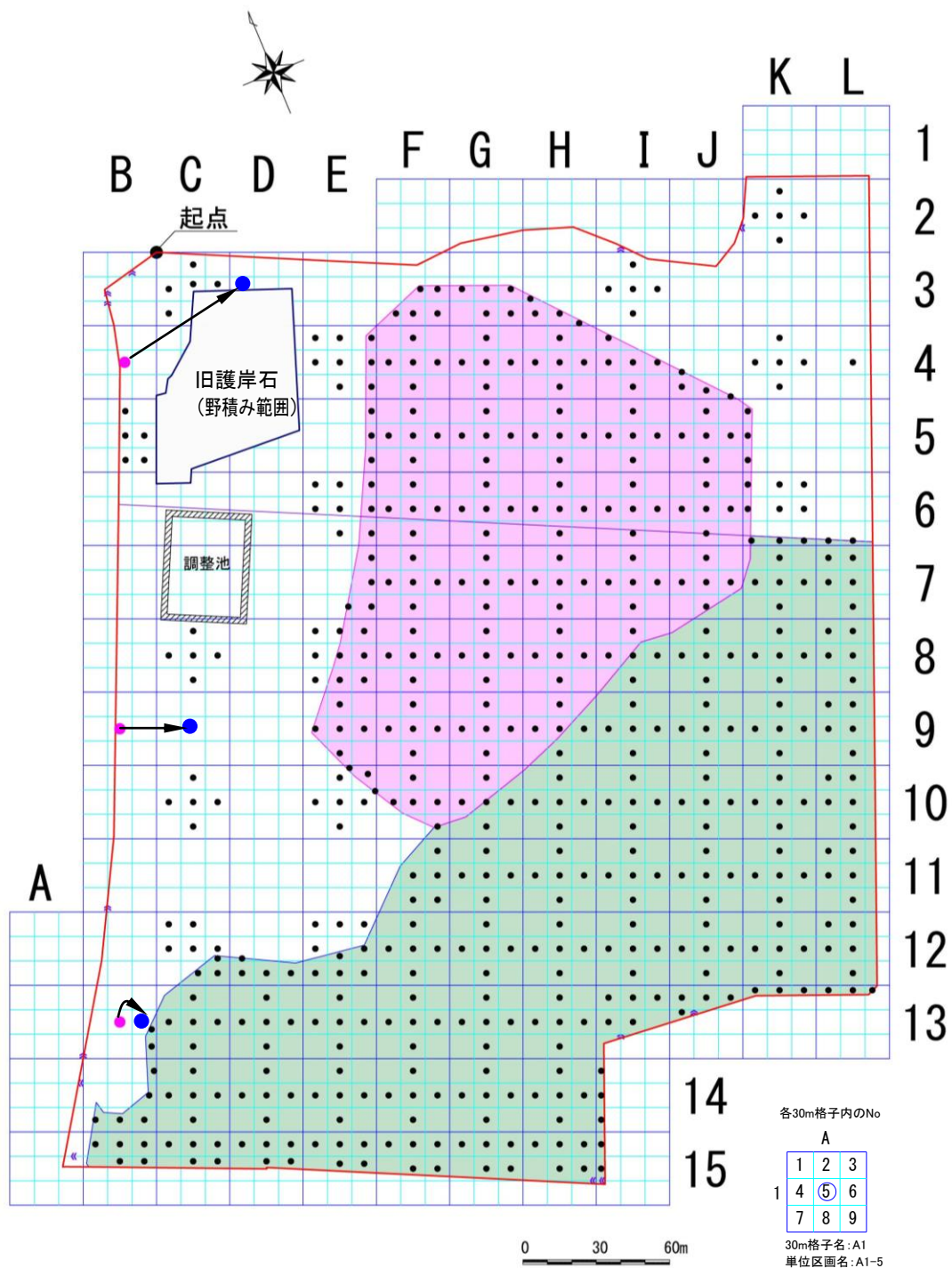
地質及び地下水調査 9 地点のうち、対象地西側の 3 地点（B4-5、B9-5、B13-5）は以下の理由から、姫路市と協議の上、当初計画地点より東側方向（D3-4、C9-5、B13-6a）へ地点移動を行うこととした。

- ・ 対象地西側に姫路市が公有水面（海域）を埋め立てる以前の旧護岸線と推察される石垣の形跡が南北方向に残存することが現地において確認された（図 1.2 の ——）。
- ・ 当初計画の 3 地点（B4-5、B9-5、B13-5）は、旧護岸線より西側（陸側）に位置していると推定される。
- ・ 本調査は、対象地内の埋土（水面埋立て用材料）及び自然地盤の分布深度を把握することを目的としていることから、旧護岸線より西側（陸側）に調査地点が位置する場合、かつての川底もしくは海底面深度を的確に捉え切れない可能性が考えられる。



出典：国土地理院撮影の空中写真（昭和 55 年 10 月 9 日撮影）に一部加筆

図 1.2 対象地及び旧護岸線と地質・地下水調査地点



- 凡例
- : 対象地
 
 : 30m 格子
 
 : 単区区画
 
^ : 区画の統合
  - : 盛土(油処理土山積み)
 
 : 盛土(油処理土敷均し)
  - : 調査地点
  - : 調査地点(地質及び地下水調査の移動後の地点)
  - : 調査地点(地質及び地下水調査の移動前の地点)

図 1.3 調査地点位置